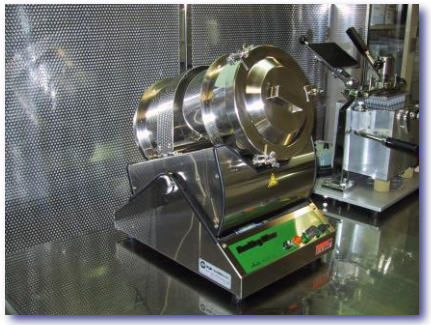
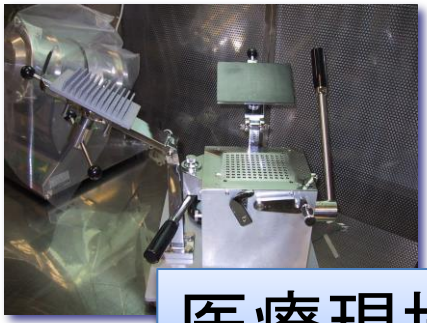
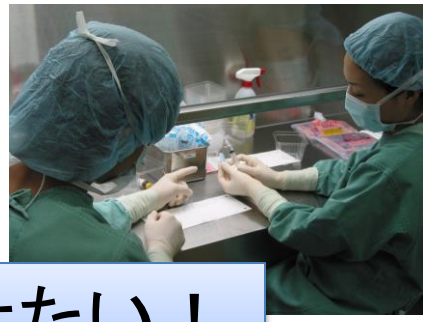
臨床製剤FGの設立趣旨



- ✓ 本FGでは従来医療機関内で調製されてきた院内製剤について医療機関、大学、製薬企業など様々な角度から議論し、今後の院内製剤のあるべき姿を考える。

- ✓ 医療現場で使用されている様々なデバイスに着目し、医療現場における使用性、デバイスの材質と薬物との相互作用について議論し、薬物治療の適正化に貢献するデバイスを提案する。





医療現場のニーズを製剤開発に反映させたい！

【院内製剤の現状把握】
医療の現場で調製されている院内製剤の種類、調製方法、使用期限、科学的根拠、臨床効果などの項目に関するエビデンスレベルを調査し、現状を把握する。

【院内製剤のニーズの発掘】
院内製剤のニーズについて薬剤師のみならず、医師、看護師など様々な領域から調査し、今後求められる院内製剤像について明らかにする。

【大学・医療機関の共同研究による新規院内製剤の提案】
大学・と医療機関の共同研究により科学的根拠のある院内製剤を提案し、将来の産学連携による新規製剤の開発に繋がる研究を展開する。

【臨床製剤に使用される投与デバイスの検討】
臨床現場で使用されている様々な製剤のデバイスについて、その材質により生じる医薬品との相互作用および取り扱い性に関する課題を見出し、今後の個別化医療に対応できる投与デバイスを提案する。